

しるばあくらぶ

第6号

SILVER CLUB Office : B-4 L-12 Ph 5BB, Cristobal St. Gatchalian, Subd., Las pinas City TEL:820-3140

☆☆

1月の懇親会模様

1月21日(土)6:00pm~9:00pm. レストラン福松。
◇2006年最初の懇親会を開催しました。元日が日曜日から始まったため開催日にあたる第3土曜日は一番遅い21日になりました。常に会う機会のある会員同士もいるが遠くから参加している人の中には12月以来初めて顔を合わせた人もいて遅まきながら新年の挨拶を交わす風景が見られた。 →

◇開催に先立ち、12月14日行われたクリスマスパーティーでのラッフル賞品や交換ギフトの預かりものや置き忘れなど一人で持ちきれない多くの品物を会場提供者の河村理事がしっかり保管して友人の井上会員と二人で懇親会場に運び込んで下さった。忘れていた人、諦めていた人それぞれ時期はずれのプレゼントに改めて喜ぶ森山氏ほかの姿があった。



赤坂氏が来る前に撮っちゃったんだ・・ゴメンネ

◇開会にあたり挨拶を遠慮する会長に、せめて新年くらいは一言を、と極めて短い挨拶をもらったあと「乾杯」の段階になってちょっとしたハプニングがあった。お店の配慮で「より冷たいビール」を提供するためグラスともフリーザーに入れていたがタイミングがとれなかった。急いで出したが怪我の功名?遅れた分だけ更に更に冷たいビールが戴けました。
◇お知らせ版を配布。通常2、3ページだが新年号としてカラー写真をたくさん使い8ページに増大。拍手が起こった?、拍手する部類のことではないが・・そう言えば子供の頃映画館で鞍馬天狗が杉作を助けに行く場面に拍手した・・ああいう部類の期待なんではないかと。拍手の他に歓声も出たが特に門田理事の声がよく聞こえる。そうだ、大声を出すのは何も自衛隊さんだけじゃない、小学校の先生も大きな声が必要だったんだ。認識を改める一幕もあった。
◇今回も石田進一氏、岩田正勝氏、田原隆氏、竹谷輝男氏、井上完治氏、計5名の入会者があり簡単な自己紹介をして頂いた。更にその中の竹谷輝男氏が「健康生きがいろいろアドバイザー」ということで



話題に花が咲き、和気藹々の風景が一目で分かる

長生きに関する話をデーターに基づいて話して頂き参考になりました。特に人生目標を掲げる大切さと「牛乳は飲む人よりも配達するの方が健康です」と言ったことばが、なるほどと思わせられました。
◇懇親会では年の初めとあってレストラン「福松」さんの頑張りや料理の種類が豊富。青森県の森氏が満足する声が開かれた。各テーブルの話題は豊富で曹先生の軍歌が出る隙がないほど盛り上がっていた。入り口の近くに陣取ったテーブルではアジア各国を体験した金井氏がそれぞれの国内事情やアドバイスなど細部にわたって興味ある話しが続いていた。
◇終わり近く赤坂氏が到着。「こんなに遅くなっから行っても仕方がない。今回はやめておこう」と思うのが普通ですが「今からでも行ってみよう」と思える人も、また思われる会も嬉しい存在です。
◇出席者(アイウエオ順)(写真提供:畑氏、河村氏) 赤坂氏、石山氏、石田氏、井上氏、入江氏、岩田氏、片淵氏、金井氏、河村氏、小島氏、小林氏、塩見氏、関根氏、曹氏、竹谷氏、田原氏、中原氏、畑氏、堀井氏、森氏、森山氏、門田氏、山口氏、23名。

会員さん紹介

○堀井満重さん (在比歴12年)

◇出生:1949年

◇出身地:兵庫県



日本においては建設会社、大手ゼネコンの海外事業部に勤務していました。当然フィリピンも活動範囲です。初めて来た時はマニラガーデンホテルに6カ月間滞在しました。今の DUSIT HOTEL です。当時まだマルコスの時代でした。

もちろん仕事で来たのでマカティの中にとどまらず周辺を出歩きます。半年もいれば表通りばかりではなく不法占拠地(通称スクワッター)を目にするこもあります。また民間の人達と多く接する機会があります。そんな中での印象はフィリピンは自分にピッタリの所だと感じました。何がそう思わせただか簡単に言い尽くせませんが一つは日本人が忘れてしまっている近所付き合い、人間関係、質素な点など、戦後の日本・少なくとも私が子供の頃に見られた情景がそっくり今も息づいているようで懐かしさが蘇りました。そしてエエ加減な所も含めてこの国が好きでした。フィーリングが合っていたと言えます。海外勤務地は他にもサイパン・サモア(サモアでは飛行場建設にあたりました)、アジア太平洋州からヨーロッパを含め世界中、スイス・オーストラリア・……たくさん(注参照)廻りました。もちろん生活の基盤は日本ですが1994年に独立しました。

熊谷組関係で作った会社がそれですがフィリピンに移り住みここを活動の拠点としました。初めの頃の思い出は仲間付き合いが楽しかったこと。日本での仲間付き合いとは違って温かみがありました。が、苦労話もあります。多くの方が経験しているように私も騙されました。相手はフィリピンの企業で被害額は6万ドル。これも勉強代なのかも知れません。

最近ではフィリピンの仕事が少なくなってきたので活路を求めて更にここから海外に進出しています。将来ともこの国に住むつもりですが1番の楽しみは子供の成長です。1人はロスアンゼルスに行っていますがこちらには9歳と2歳、二人の子供がいます。

シルバー会に関して思うのはやはり自分に合っています。負担をかけない、押しつけないというのが我々の年代層が最も望むことであり、これが気楽で居心地の良い親睦会を作っている要素だと思います。*私が心がけている事(モットー)は、人の意見は聞くけれど人の言葉に感わされたり尻馬に乗る事がないように「自分の考えで動く」ことです。

◎注: 現地人の数え方は イサ(一つ)、ダラワ(二つ)、タトロ(三つ)、マラミ(たくさん)で終わりだそうです。堀井氏の話、身を入れて聞いていたところ国名を七つまで数えたが全部を数えず「たくさん」になってしまいました・・・現地人になりつつあるのでしょうか。

理事会報告

1月28日(土)午後7時~8時 レストラン「福松」

出席者:石山、小林、堀井、畑、山口

議題

2006年度の行事予定について。

- 考えられる種目と実現可能性の検討、具体案。
 - (1)ゴルフ 3月に第3回大会。以後隔月に実施。
 - (2)マージャン大会 2月下旬に第1回大会予定。
 - (3)日帰り小旅行 コレヒドール、激戦地見学会。
 - (4)囲碁・将棋 先ず同好者による趣味の会から。
 - (5)カリヤ慰霊祭出席+親睦会ピクニックなど。
 - 一例:温泉プールに集いバーベキューで会食。
- 第3回ゴルフトーナメントに関する実施要領。
 - 場所:カンルバンゴルフ&カントリークラブ。
 - 日時:3月8日(水)午前10時ティーオフ。
 - 費用:1220+300(賞品)=1520。
 - 要領:新ペリア方式。終了後直ちにスコア集計、順位発表。表彰式は3月の懇親会にて。
- 第1回マージャン大会。2月下旬予定。2月懇親会にて細部決定。8名以上の参加を望む。

囲碁・将棋

囲碁・将棋が始まりました。囲碁は昔から人々に親しまれ、その用語にも・・・駄目(どちらの陣地にもならない勝負に関係ない目)。駄目を押す(その目を詰めて勝負をハッキリさせる)。定石・布石・一目おくだなど囲碁からきたと思われる言葉を生活の中でもよく聞きます。「囲碁は高尚な娯楽」です。



コーヒーに手が出る余裕組、方やそれどころじゃ

シルバークラブ 懇親会のご案内

毎月第3土曜日を開催日として会員やお客様が集まって談笑しています。細部、場所・時間については2~3日前にマニラ新聞に掲載します

日本料理店「福松」

Japanese Restaurant Fukumatsu

5675 Alabang-Zapote Road Pamplona III, Las pñas City
Tel:0917-943-6514 e-mail:fukumatsu@hotmail.com

ノリさんのフィリピン談義 (その3)

入江則昭

◇ フィリピン人が見た日本 ◇

- ある雑誌に「フィリピン人が見た日本」という記事が載っていました。面白かったので紹介します。
- 1、日本では全てのトイレに、必ずトイレットペーパーが備え付けられている。私用といい、公用といい、一つとして欠けていることがない。
 - 2、日本では全ての交通機関が定刻通り運行されている。鉄道でも、バスでも、飛行機でも。従ってどの場所へ行くにも迅速確実に行く事ができる。
 - 3、日本では、コンビニエンスストアは24時間開いている。いつでも温かい食事を口にできる。
 - 4、日本ではチップが不要。チップを渡さなくても、何処へ行っても最上級のサービスが受けられる。
 - 5、日本では買いものをする時、どこでも最上の包装をしてくれる。
 - 6、日本ではボリスカー、救急車、消防車などのけたたましいサイレンはほとんどない。車はいつもキッチリとルールを守って正しく運転されている。
 - 7、日本では全てのことが時間どおり正確に励行されている。配達でも、仕事でも、お医者さんでも。
 - 8、日本ではいつも新鮮なものを安心して買える。古い物、腐ったもの、壊れたものは売っていない。
 - 9、日本では決めた事は何回も確かめなくても確実にやってくれる。黙ってキャンセルする事もない。
 - 10、日本では騒音や異臭などで耳や鼻をカバーしなければならないことは絶対ない。
 - 11、日本では外国人も健康保険書さえ持っていれば最上の医療サービスを安く受けることができる。

- 12、日本は世界で一番安全な国だ。夜道でも安全だし、鍵をかけ忘れても殆どの場合心配がない。
- ◎さて、反対に「悪いことは一切言わない。いい事だけ」という条件で「日本人が見たフィリピン」という題が与えられたら、私ならどう書くでしょうか。
- 1、フィリピン人はいつも清潔でさっぱりした服装をしている。特にスクオッター（貧困生活者の不法占拠地）の子供達が毎朝学校に出かける時でもどの子を見ても洗い立ての清潔な服装をしている。
 - 2、待つことをほとんど気にしない。長い時間待たせてもほとんど気にしなくてもいい。従ってJR西日本のような事故など将来とも絶対起こらない。
 - 3、とき、ところ 構わず騒音をほとんど気にしない。この国では騒音防止法など全く必要ない。
 - 4、いつもニコニコして楽しそう。特に子供達は日本の子供より幸せそう。だからアジアの中でフィリピンが一番自殺者が少ない。
 - 5、ゴミが散らかっていても気にしないでいられる。
 - 6、歌やダンスが大好きで皆上手だ。
 - 7、家族親戚を大切にする。
 - 8、お年寄りを大切にする。
 - 9、押し売りが来たら、できるだけ買ってあげる。
 - 10、壊れたものでも器用に治し大切に使っている。
 - 11、ボスのいうことは無条件で聞く。
 - 12、皆で集まり、話し、食べるだけで何時までも楽しむことができる。
- *さて、皆さんなら何をとりあげられるでしょうか。

ボクの履歴書(3)「ホーレンソー」と「キリマンジャロ」

山口陽一

日本人でもフィリピン人でも、紛らわしい外国語を聞いたら自分の知っている単語に置き換えてしまう事があります。例えば、自分が日本へ一時帰国して友人に会ったりしたとき「今ここにいるから」と名刺を出したら、セクレタリーという言葉を知らない人が多くて「セキユリティー？、ガードマンやってるんか」と言いますが、こういった種類の話です。

◇両館に住んでいた時のこと、いつもプロ野球中継を見ている自分に馴らされてフィリピーナの女房もだんだん興味を持ち、一緒に見るようになりました。何せ「きのう亀山(阪神)の夢を見た」などと言うほどにまでなったんです。それはいいんですけど、ある日、仕事から帰った自分に女房が「おとうさん、どして巨人はホーレンソーですか？」と聞く。スポーツニュースで言っていたという。「多分、何かの例えか聞き違いと思うけど、内容を聞かんと答えられん」。その日の実況中継を見ている時、解説者とアナウンサーの話しているのを聞き「ネエ、どして巨人がホーレンソーなの？」とまた聞かれてやっと意味が分かった。「おまえナー、あれはナー、ホーレンソーじゃなく五連勝って言うんだよ」とその

意味を説明して一件落着。・・・ンでもう一つ

◇1992年の冬、女房が風邪で寝込んだ。当然世話をするのは自分だけです。「スーパーに買いもの行くけどナンかほしいもんあるか？」「キリマンジャロがいい」。・・・スーパーに行った自分は、もっと高いやつを飲ませてやりたくてブルマンを買って帰りました。・・・コーヒーをたてて女房に飲ませたら「これじゃない」っていう。アイタッ！・・・やっぱコーヒーを飲みつけている国の人、豆の違いがちゃんと分かってるナ、と思いました。「ま、キリマンジャロと違うけど、せっかくおまえのために高いの買ってきたんだし」と言っても「これじゃない」と言い張る。逆に自分の方が文句を言い始めました。すると女房は泣きながら「何か欲しいものっていうからお願いしたのに。とうさんが時々食べてる白い小さな魚が食べたかった」。そこまで聞いて初めて分かりました。「おまえナー、あれはナー、キリマンジャロじゃナーよ、チリメンジャコって言うんだよ」。・・・そんな時代もありましたが、その女房も今ではフィリピンで偉そうな顔をして日本語学習塾の先生をしたり、通訳の仕事をしています。